

壬生町政

住民登録人口

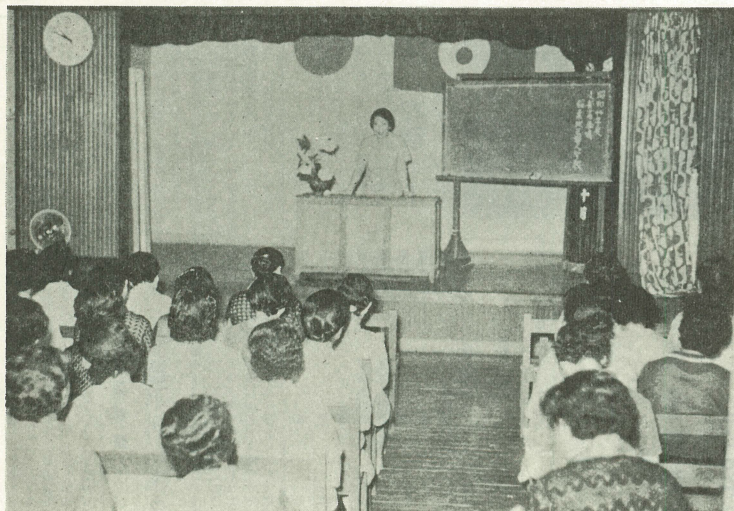
昭和44年7月1日現在	対前月比
総人口 25,227人	47人増
男 12,433人	22人増
女 12,794人	25人増
世帯数 5,368世帯	9世帯増

発行所 栃木県壬生町役場

(毎月24日発行)

昭和34年8月30日第三種郵便物認可

一部 7円20銭



婦人学級が開講

～ 稲葉地区 ～

8月の納税
お忘れなく
町県民税 第2期分
国保税 第2期分

時代の要求に伴ない、婦人の教養を高め、家庭のしあわせそして明るく豊かな暮らしをつくるためにここに稲葉地区の婦人学級が町教育委員会の主催で開講されました。

この学級は、文部省からの委嘱とあって行事はもりだくさん、来年の2月まで16日間にわたって交通法規、農作業、郷土の歴史、健康管理などについてそれぞれ講師を特に依頼して行なわれます。

この日は、午前9時から稲葉地区公民館で会員約40名が参加して「婦人学級と婦人の立場」のテーマで県教委指導員の日向野トシ子さんと「やりくりじょうず」で足銀調査部長石原恒光さんの話し合いの勉強が行なわれ、みんな熱心にペンを走らせていました。

町営墓地ができる

—上長田—

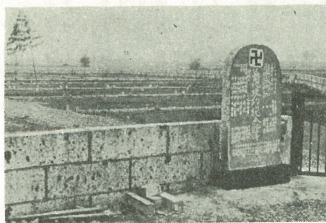
意ふり。

町では、上長田部落内に町営墓
地がこのほど完成し、その竣工式
が七月十七日現地において佐藤町
長はじめ、石橋町から若林町長、
そのほか関係者六十名が参加して
盛大に行なわれました。

この事業の発端は、地元部落の

人たちの強い要望によって、役場民生課が県知事の認可を得て、また、中川福蔵さん（自治会長）を中心とする関係者四十名の方々の協力のもとに完成したものです。

これらの人たちは、石垣や区画整理、記念碑などにも出資し、その上勤務率仕まで行なうという熱意を完成した町営墓地に



墓地の使用・募集
前記のように町営墓地
ましたので、使用者の募
います。

- ◆募集区画 四〇区画
- ◆区画の大きさ 二二・五坪（正味）
- ◆使用料 三五、〇〇〇
- ◆申込み方法

が完成し
集を行な

経費調
クター
して牢
農業
なさん
います
時の価
額を算

調査が主眼、田植機、大施します、果の所得算、はすで、が、農作、価格で金額、出、収

自由な休日の指導方法は

健康を増進して
新学期にそなえよう

各小中学校では、七月二十日から八月三十一日までその四十三日間夏休みの予定だが、この夏休みは、学校の授業から、学校の敷外まで健康の維持増進を図り新学期を迎えるため、また、ふだんの学校生活では得られない学習の生活を体験させるのびのびした夏休み期間づくりに努めている。

五、集団活動に積極的に参加して

役立たない夏休みの体感です。このような夏休みを家庭で過ごすような方法こそを指導しようといつか、この指導方法について考えるてみましょう。

★指導上の目標は

- 一、健康な全身体格を積極的につくってきたる。
- 二、自律性、継続的な学習を身につけたる。
- 三、身体的治療はこの夏休み中に、完全に治癒する。
- 四、規則正しい生活態度を身につけたる。

二、健康に留意し、むし歯、トリ
ホムなどの疾病の治療を受ける
三、歯みがき（ねる前および）手
洗、洗面などを励行せよ
四、食べすぎ、飲みすぎ、ね冷え
などに注意する
五、毎朝のラジオ体操やマラソン
などで積極的に体をきたえる
★生活指導は
一、午前八時までは、学習や手伝
いをしてその間は遊びに出さな
い。
三、テレビは家族の人と話し合っ
て、時間を決めておくことで手
元、口裏から出てくることを見

一、川にはこゝもたがはずで行かせない。
二、家の人に断わらずに遠方へ水泳、釣の魚とに行かせない。
三、体の具合の悪くは絶対に泳がせない。
四、水に入る前には十分準備体操を、激しい運動の後や体の調子の悪い時には泳がせない。
五、流し、道交の安全は、
★交通安全は、歩行、横断のきまりを守る。
二、自動車、オートバイの直前直後の横断は絶対にしない。
三、自転車は、例で左側を進み二人乗りや力かせた運転は絶対に

が好き

とくに最近では、砂利をとった跡があとこちにある、深さ五六メートルもある所もあった、昨年にもこのような場所で水死事故が起っています。ここには落ちると絶対にあがれません。

このような危険な場所に行かれないように家庭でよく指導しましょう。



44.7.24発行

道徳や学習の意欲を持つ

新しいアイデアで効果満点

立正生徒中学校(西川正二校長)では、生徒たちの道徳を実践させるために「善行賞」と学賞の向上をめざす「五枚賞」を設けた。これに「五点賞」「五枚以上受けたら大きな「賞」を与えて生徒たちの自主的な意欲を持たせよう」と昨年の四月から実施して大きな効果をあげている。

「善行賞」とは、先生の目についた生徒たちの道徳的な善意を行

もの。

「五点賞」とは、テストをやる前のテストより、五点に総合点が前回のテストより、五点以上伸びた生徒に對し、善行賞と同じように校長からこの「五点賞」が贈られる。

さらにこの五点賞を五回とったときには担任の先生を通して学校長にその写真を印刷した「賞」のしおりが贈られるもの。

水の事故防止は

家庭での指導が大切

夏、暑を迎え、また学校は夏休みに入るこれからもうたちの水事事故が多くなってきました。そこで午後教養委員では、七月十日午後二時から、生中ブルールPTA、子供供育会、学校、集落者の人など約50名が参加し、夏期の水事事故救助対策についての講習が開かれました。

この講習会は、栃木警署署の防犯課職員が出張し、おぼれたことと救助方法、人工呼吸の方法などの実地指導がありました。

夏をなくすことと各家庭に注意指導を呼びかけています。

- 各家庭で注意する点
- 幼児を水沼、池などで一人遊びをさせないこと。
- 幼児、小学生の水遊び、水泳には必ずおとなが付き添うようにすること。
- 家人に断らず、浅方へ水泳ぎ、魚とりを行かせないよう常に指導し、おぼれたらすぐ救助。
- 体の具合が悪いとき、空腹痛時には、絶対に泳がせないこと。
- 水に入る前には必ず十分な準備



老人学級ひらく

十日から夏休会は、前
にして、家庭における
ことどもの教育について
七月八日午前八時三十分
分北小林郡落公民
館で老人クラブ（会長
渡辺見重は約三十名）
が集って老人たちの勉
強会が開かれた。

講師には、地元の北
小学校校長渡辺治先生を
招いて、夏休みの家
庭での教育、しぐまの
について指導され、老
人たちも熱心に受講さ
れました。

[illegible]

お知らせ

八月十五日は
追悼式

八月十五日は、全国戦没者追悼式が行われます。

この追悼式は、過ぎた大戦で戦死された軍人軍属はもとより一般戦没者に対して、国を上げて敬重の誠を捧げるものです。皆さんも次の行を行ない協力してください。

①半旗の掲揚

(半旗とは、いったん国旗を頂上まで上げ、これを中間まで降して掲揚する)

②黙とう

正午に一分間の黙とうを捧げてください。

インフルエンザ

予防接種の申込み

インフルエンザ(流行性感冒)の予防接種が九月末に実施される予定です。

この予防接種は、近日(同覧)に募集いたしますから希望者は申込んでください。

かぜは万病のもとですからみなさん自身、そして家族の健康を守

納涼踊りの夕べ

八月十日・十一日

納涼踊りは、恒例により八月十日・十一日の両日、社会教育委員会主催、協賛として商工会議所、婦人会、体協、後援が壬生町で盛大に行なわれます。

△場所 壬生小学校々庭

時間は、いづれ午後七時から十時までです。各種団体の参加を期待しております。

北小

雑布や魚贈られる

町立北小学校に沢山の贈り物があり、学校や関係者の方々に感謝されています。寄附者は次のとおりです。

一月十四日	雑布一〇〇枚	上田 大垣 イカ
二月十五日	雑布一〇〇枚	助谷 渡辺 イチ
二月二十一日	雑布一〇〇枚	上田 飯塚 ケン
四月十三日	鯉二〇匹	安塚 荒川 正
四月十五日	金魚	北小林 山井 邦夫
四月二十八日	鯉二〇匹	助谷 桑川 信一

長保俊氏逝去

前壬生町議会議員長保俊氏(明治三十五年七月一日生)は、七月四日午前〇時四十五分、肺癌のため京都府立市立柳木養護所において死去されました。六十七才の故人、昭和八年四月から四十二年十月までの期間に二十一年間にわたり町議会議員として町の行政に貢献されました。

また、昭和四十二年五月には町政自治功勞者として表彰されたこともありました。

毎月1日と
毎月第3水曜日は
交通安全日です

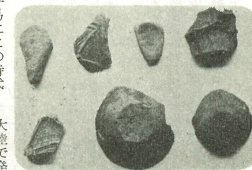
善意銀行

壬生七、七二五番地山田信三郎さんは、七月九日に善意銀行へ金五百円を寄附されました。



上古石器時代(二)

原始時代の人間はその食糧を自然にあるものから採った。それでこの時代を採集時代ともいい、採集する道具が主として石器であった。この時代は、普通石器時代という。本町でこの時代の遺物や遺跡等の発見や研究に深い造詣が有るのは、高橋一凱氏で、先年高橋氏はこの史前史で数回にわたり詳細な研究を発表された。今回筆者は再び一般読者の理解を深めるため平易にこの時代のことを略述した。



石器時代の道具

さて食糧として採集されるものは動植物で、動物の中にはいのしし鹿等山野にいる鳥獣や小動物から水中動物の魚介などであった。それ等のものは、あちこの遺跡から木の葉や骨や角の破片、貝がらなどとして出土されている。貝類を食べてその殻を捨てて集積された所が貝塚、柳木県では藤岡町の鎌山が有名である。しかも鎌山から出土する魚介の遺物が海産動物である所から、当時(今から一、三千年前)は東海が県南地方まで流入していたらうと言われている。

食糧になる動植物の最も豊富にある所は水辺(河川湖沼)で、しかも水辺ならば人間の生存に欠くことのできない水があるから、古代人の住居は必ず水辺に限られた。しかも日当りのよい台地などが選ばれた。

採集時代の唯一の生活用具の石ころを、使い易くするため加工した即ちより堅い石をつかい割りつらったり、とがらしたりした。之が打製石器で、後に磨製石器でできた大槌で発見されたものは打製磨製の年代がはっきり分れるが、日本では明瞭な区別がないという。石器のうちで最も多く発掘されるものは石斧で、大小様々な形のものがある。これを手で握り又は柄をつけて、木を切ったりと格闘したりした。

次に石鏃が多く見つかる。狩猟に使われる。所が石鏃の資材にめづる、黒曜石、水晶などの地方に産しないものを用いられている。(稲田)